

読書のすゝめ

その7 H 30 4 / 18

新任の先生紹介⑦

坂場小弥太先生（1年5組副担・保健体育）



漫画「君たちはどう生きるか」

原作・吉野 源三郎 漫画・羽賀 翔一
(マガジンハウス)

4月号その3でキミ本大賞で第一位に輝き、すでに紹介済みなのでもう一冊紹介します。

「勇氣は、一瞬 後悔は、一生」0号室 (ゼロこうしつ) (kkベストセラーズ)

「思わず泣けると大反響」恋人、友達、家族・・・。すぐそばにいる人を大切に

したくなる。是非一度読んでみてはいかがか。



『大きな木』シルヴァスタイン
The Giving Tree by Shel Silverman

本田錦一郎 訳 篠崎書林
村上 春樹 訳 あすなる書房



リンゴの木と少年の物語。「あ、知っている。」とか「表紙を見たことがある」等なじみのある人も多いと思います。原本は英語ですが、作家村上春樹氏訳の新版と本田錦一郎氏訳の旧版2冊があります。読み比べると、村上訳は英語原文に忠実、直訳的で説明文調ではあるが、英文和訳のテキストに使えそうな大人向きの一冊です。他方、本田氏訳は意識的で口語的言葉にリズム感があつて散文詩のような雰囲気漂っています。私は本田氏訳の昔話風自然な語り味があつて好きです。訳者によつて個性が分かりますが、どこがどう違うのか発見するのも面白い。同じ原本なのに2冊は全く別の物語になっているのです。



しかし、タイトルはどちらも同じ「大きな木」、本田氏の訳です。原題The Giving Tree (与える木)が「大きな木」と訳されています。最初に原題と邦題を見比べた時びっくりしました。でも、今では「大きな木」のタイトルの感性が豊かであり、誰にでもわかりやすいタイトルになっています。村上訳版にはこのタイトルは少し違和感がありますが、それでも、あのリンゴの木はやはり「大きな木」そのものです。ちなみに、銚田市立中央図書館にはこの2冊がそろっています。

「もし自分なら、このThe Giving Treeにどんな日本語訳を付けるかな？」そんなことを考えながら読んでみてください。

上田芳先生（1年2組副担・国語）



今年NHK大河ドラマ西郷どんが放送されています。二〇〇八年に篤姫を主人公にした大河ドラマがありました。原作は宮尾登美子の『天璋院篤姫 上・下』です。十八歳という年齢で薩摩藩主の養女となり、その後、十三代家定の正室となる女性です。自分の力で自分の人生を切り開いていこうとする強い女性です。生きている時代は違いますが、思慮深く、また決断力もあり、女性としてこうありたいと思います。

辺田勝洋先生（1年8組副担・数学）



『陸王』池井戸潤
(集英社)

チームワーク、ものづくりへの情熱。そして、仲間との熱い結びつきで難局に立ち向かっていく姿を感じとって欲しい。

